

令和 5 年度 学校関係者評価委員会 議事録 (1 回目)

実施日：令和 5 年 6 月 20 日（火）10：00～12：00

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティー専門学校 6 階 C 教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティー専門学校 校長）

土橋翔太（第一学院高等学校 教諭）

熊谷美咲（平成 31 年度卒業生）

中川信子（名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院 校長）

川野公稔（指吸会計センター(株) 名古屋支店 支店長）

田口 豊（愛知県理容生活衛生同業組合 副理事長）

高橋 健太（(株)セイファート 東海ブランチ シニアマネージャー）

順不同

オブザーバー

森山郁子（アリアーレビューティー専門学校 事務主任）

山口 孝（アリアーレビューティー専門学校 広報主任）

高橋秀典（アリアーレビューティー専門学校 美容科チーフ）

委員会次第（概要）

- （1）開会
- （2）学校長挨拶
- （3）理容・美容業界に関するデータ紹介
- （4）令和 4 年度自己評価の報告
- （5）令和 4 年度学校関係者評価委員による評価まとめ
- （6）その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。

（詳細は後記のとおり）

（9）閉会

終わりに、校長から令和 5 年度は第 2 回目を令和 4 年 11 月～12 月に行う予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○田口 豊 委員

自己評価の報告がありましたが、留学生の現在の状況と就職はどのような形で行ったのでしょうか？学校運営のところで、組織の風土や教職員の意識改革の話が出ていますが、組合系の学校として変な安心感があり、そのために必死さが足りないのではないかと。先般、三重県津市で開かれた東海北陸理容競技大会に行った際、近鉄電車「ひのとり」のプレミアム席に座ったが、近鉄のやる気、前向きさを感じました。(名鉄は楽しくない、面白みがない) 愛知県理容競技大会にアリアーレだけでなく初めて他校参加を認め実施しました。コロナ禍でもあり他校には代表者のみの人数制限を実施。またアリアーレ参加者よりも上回らないような配慮もいたしました。

(学校側)：留学生の状況ですが、政府のコロナ入国制限もあり、現在トータル科の在籍者は1年生4名、2年生3名(入学時は6名。また3月の卒業生12名で入学時は24名でした。)アリアーレは直接外国からの入学者は受け入れず、日本語学校出身者の受け入れのみになっています。日本語学校はコロナで3月卒業生はほとんどおらず、逆に制限緩和で現在は非常にたくさん学ばれております。そのため日本語学校では来年3月卒業生に対する進学先を苦慮され、留学生には早めの進路先決定を促している状況です。組合と学校との関係ですが、通常組合系の学校は他校よりサロン等とのつながりから優位性があると考えられがちですが、実際にはアリアーレより名古屋理美、中央校より国際理美や国際文化理美、中部美容より中日美容の方が生徒は断然多いです。組合系だからこその利点もありますが、それ以上にマイナス面が大きいと考えます。我々教職員にはまったく安心感などなく、あるとすれば教職員以外にあると思われます。組合とのつながり方等また次の会議にこの問題は取り上げていきたいと思えます。県技術大会ですが、他校の参加者が少なく残念でした。もしアリアーレに配慮した形をお考えでしたらそれは無用です。勝ったり負けたりは当然あるでしょうし、参加人数が広がらなければ、そもそも大会の価値がありません。主催者側が門戸を広げられたことにアリアーレも賛成しました。来年は盛り上げていきましょう。

○中川信子 委員

ユマニテク専門学校との連携報告がありましたが、どのような形なのでしょう？当然それらはアリアーレさんへの入学につながる形なのでしょう？教育環境のところですが、具体的にどのような整備を計画されているのでしょうか？貴校パンフレットへの意見ですが、文字が多すぎると思います。高校生はとにかく

字を読まないのだから私たちの学校では写真中心です。週休 3 日制を打ち出されているのですからここも図で示されてはどうでしょう。あと時間割も一緒に載せると具体性が出ると思います。P14 の千種区イラストはいいと思いますが、千種駅中心で河合塾もなしでいいと思います。

(学校側) : ユマニテクさまとは、毎週水曜日 13 時 00 分～14 時 40 分 高 2 生の美容・ファッション希望の約 60 名に対し 24 回分の授業をしています。(ヘアアレンジや顔そり、短髪の理容部門も) 昨年に続き 2 年目ですが、昨年オープンキャンパスに 1 名来校され、今月 24 日のオープンキャンパスに高 3 生になり初めて予約が入りました。連携授業から入学に至るといいのですが、ユマニテク側に伝えたのは同分野の他校への学校見学等への案内を教室内に掲示および促進はさせていただくよう 2 年目の更新時にお願ひしました。(1 年目にその傾向がありましたので) 教育環境ですが、来校者が必ず通る玄関や通信課程のレポート提出がオンライン変更になったのに伴い、通信生に対する授業の環境整備を検討しています。1 つでいいので広報的に活かすことが出来る教室ができればいいなと思っています。パンフに関しましては、昨年来より皆さまにもご意見をいただいております。工夫はしておりますが、また次のパンフに作成業者さまと共有し生かしていきます。

○熊谷美咲 委員

(卒業生として) アリアーレを卒業し、就職して感じたことは他校出身の方の基礎技術の高さがあります。毎月厳しいマンスリーチェックがあったそうです。基礎技術とは例えばカラーホイルの技術などです。私が在学中にはありませんでした。今サロンで流行っているのはトリートメント。髪を美しくする・ケアするのが人気です。私は昼間生で美容、通信生で理容の免許を取りましたが、W 免許を取ったことで現在活かされているのは成人式等の装いの中で、産毛の処理等を行っています。

(学校側) : 今年 3 月の卒業生アンケートとその卒業生が入学した 2 年前の入学生アンケートを同じ項目・質問内容で比較したところ、教育面の期待度が入学前と比べてかなり下がっていることがわかりました。基礎技術とは具体的に何かと教えていただきありがとうございます。現在はパンフレットにもあるようにヘアカラーに力を入れており、カラーホイルは行っておりますが、教育内容の確認については明日の職員会議で議題に上げます。

○川野公稔 委員

財務も安定し少子化の中でよくやっているといます。ただ通信生に偏り昼間生

が不安定な状態。財務が改善した分、人に投資するのか設備に投資するのかどこにどうするのかが見えてこない。学費徴収に際し、日本では前払いが当たり前だけど外国人にそれが素直に通用するかどうかわからないところがあるので、大変だと思いますが工夫してほしい。施設改善について、弊社ではドアを開け玄関に入るとやさしい音楽が聞こえるようにしている。エアコンや外壁修理の計画も聞きますが、今学びも教科書に QR コードがついている時代です。教室の改善も検討していいと思います。

(学校側)：昼間課程については現在の高3生から大きく少子化が進み、また中学校卒業者が入学する高等専修学校で美容科設置の動きや(県内2校)、サロンが自ら設置する養成施設も増え、学生募集は混とんとしている状況です。留学生の学費徴収については生活状況に応じた対応もしており事務的負担をかけていると思います。日本語学校も前納が原則ですが最近は分割希望者が多いようです。教室に限らず学びの工夫、改善がない授業価値はアンケートのように下がると思います。

○高橋健太 委員

就職に関し、弊社4月の吹上ホールでのイベントではサロン×美容専門学校のコラボ企画を実施。サロンさまに声かけを気になる専門学校をピックアップしてもらい、弊社の調整を経てサロン×美容学校のポスターを作成しました。(タカミグループ×中部美容専門学校、イーストハム×ベルフォート美容専門学校)

(学校側)：貴社 吹上会場におじゃましてポスターを拝見しました。サロンと学校間のタイアップ、強固な結びつきが今後必要なのかと考えました。他校とのコラボばかりで自校の名が見つからない等になると会場に出向いた学生が疎外感を感じてしまうのではないかと思います。サロン側に自校を選んでもらう努力の必要性も感じました。弊社にはサロンさまによる後援会組織もありますが、学生には機会損失がないようイベント会社の就職セミナーの告知もしております。悔いのない就職活動を願うばかりです。

○土橋翔太 委員

当校の授業カリキュラムは大学入試を基本的に想定し組んでいます。(通学コース) ペットコースと美容コースは通信コースの生徒のみが対象であり。通学コースの生徒には該当しません。

(学校側)：中学校卒で美容が学べ、かつ高卒資格と国家試験受験資格がとれる学校が愛知高等専修学校(=北海道芸術高校)と安城生活福祉高等専修学校(=東海大学望星

高校)とあり、ともに今年度設置されました。中学校での進路選択で美容が本格的になってくると思います。フラワービューティさまやユマニテクさま始め互いの魅力を活かしあうヨコのつながりが一層活発になってくるのか、業界再編につながるのか、同じ事の延長では将来はないと感じます。

以上

記録：山口

令和 5 年度 学校関係者評価委員会 議事録 (2 回目)

実施日：令和 5 年 12 月 12 日（火）10：00～11：30

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティー専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティー専門学校 校長）

土橋翔太（第一学院高等学校 教諭）

熊谷美咲（平成 31 年度卒業生）

中川信子（名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院 校長）

川野公稔（指吸会計センター(株) 名古屋支店 支店長）

田口 豊（愛知県理容生活衛生同業組合 副理事長）

梅崎 美和（(株)セイファート 東海ブランチ シニアマネージャー）

順不同

オブザーバー

森山郁子（アリアーレビューティー専門学校 事務主任）

山口 孝（アリアーレビューティー専門学校 広報主任）

高橋秀典（アリアーレビューティー専門学校 美容科チーフ）

委員会次第（概要）

- （1）開会
- （2）学校長挨拶
- （3）専門学校分野別在籍者数に関するデータ紹介
- （4）来年 3 月納品の新パンフレットに関する報告
- （5）その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。

（詳細は後記のとおり）

- （6）閉会

終わりに、校長から令和 6 年度も引き続き同メンバーでの会議を年 2 回お願いしたい旨の発言。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○田口 豊 委員

専修学校の直近 10 年間（平成 24 年～令和 4 年）の在籍者数推移（愛知県のみ）の報告がありましたが、愛知県理容組合に関しての数字をお知らせすると、11 月現在の愛知県理容組合員数は 1,978 店（名）で毎年 120～130 件減少しています。すぐに 1,500 店ぐらいまでになるものと思います。ただ、組合に入らなくても若い人が目指しているのも近くでみます。業界の方では、リラクゼーション系を始め色々取り組んではいますが、打ち出しがあまり上手ではない。AI 中心の時代になっていくと思いますが、無くなる業界ではないと思っています。未来へのビジョンを語るまではいきませんが、私は人並み以上の生活が維持できる職業であると思います。

（学校側）：数値は昼間生のみですが、理容について、令和 4 年に関しましては県内で全理容学校を合わせても 1 年生・2 年生合わせて 40 名ということで、到底アリアーレにおける入学定員及び総定員充足率が満たされることはなく、またこの 10 年間で美容科が県内で約 1,000 名（2,940 名→3,950 名）増えているのに対し、理容は 1 名（39 名→40 名）。美容は理容に対し在籍者数が約 100 倍（理容は美容の 1%）、10 年間の増加率は 1,000 倍の開きがあります。美容については学校として努力の余地があると思いますが、理容の昼間生に関してはどういうことが学校としてできるのか、やれるのかを考えてしまいます。「無くならない」業種というだけで、若い方が目を向けてくれるのだろうか。世の中の進化は想像できなかった分野に発展しており、そもそも本当に無くならない分野なのかというぐらいの意識が必要だと思います。

○中川信子 委員

来期向けの新しいパンフの一部を資料として用意されていますが、私たちの学校ではこんな学生に入学してほしいという意味を込めてパンフ冒頭にキャッチコピーを記載しています。私たちも同じ美容系の学校で無くならない職業と思っていますが、なぜ不可欠なのかを高校生には伝えていきます。そこがリンクすると無くなる仕事ではないだけで充分ではないかと思っています。ブライダルは無くならない→なぜ、魅力があるから。目の前のオープンキャンパス数、その参加者数だけを追うのに手いっぱい中長期的なビジョンまで行っていない。授業に関してはサービス検定は必須、秘書検定は選択にしています。

（学校側）：パンフに関しましては、常々ご指摘いただいております「文字が多い」という

部分を今一度作成会社と共有し、また理容科・美容科の若い先生の意見や学生アンケートからの声も生かして作成しています。毎年貴校から通信生をご紹介いただいております。免許を活かして自分の得意分野を伸ばしていただければと思います。12月9日のウイंकあいちの進路ガイダンスでは貴校のブースに2重・3重と人の輪ができていました。大学もいましたが、専門学校が多く、また参加者が1年生・2年生が中心とはいえ、500名を超える方が来場され専門学校への関心を高めてもらえればと思いました。

○熊谷美咲 委員

サロンに就職し4年が経ちますが、活躍できる幅が広がり、出店拡大の方針もあり最近では求人ガイダンスにもよく出かけます。会社の方針、サロンの特徴として技術の幅は広げたい、技術面は手広くやっていくという考えがありカミソリも念頭に置きながらメンズ専門サロンを計画しています。理容師・美容師は技術、技術と考えがちですが、最近私が思うのは技術よりも実際に大事なものは、接客マナーだと思っています。学校でももっと時間を割いてもいいと思いますが、それがウリになるかどうかは微妙ですね。

(学校側)：接客マナーの学びというのは、理容・美容学校に限らず専門学校全体の1つの特徴だと思います。専門学校は仕事に直結しやすいからでしょうか。大学の通常の学びの中でマナーはないですね。そういう面では社会に出てからの適応能力は大学出身者より、専門学校卒だという方もいます。たとえ理容・美容学校を卒業し、将来理容・美容分野を離れても決して専門学校時代の経験は広い意味で色あせないと思っていますし、学生にもそう伝えています。

○川野公稔 委員

分野別及び本校における来年度入学者数や3月卒業者数のお話がありましたが、学生であれ、ここで働く教職員の皆さんであれ、ここでやりたい、がんばりたいという気持ちにならないと始まらない。そういう完成した学校を目指さないといけないと思います。弊社では、職員の自主性を尊重して働いてもらっています。AIで無くなっていく職業に挙げられていますが、人の価値を高め、がんばっています。

(学校側)：学校選びはどこも同じではなく、進む学校で人生が変わる、そこで出会う人たちで人生が変わるものだと思います。自分がやりたいことができるのは当然であり、それを踏まえた中で就職率や学費、雰囲気等で決まっていきます。アリアレで学ぶことを決断していただけるよう、がんばっていきます。

○梅崎美和 委員

職業柄理美容サロン、理美容学校学生と触れ合う機会が多いですが、サロン経営では生産性重視ということで業務委託で行っているところが最近多くなってきました。学生側の意識では、美容学校の男子学生はメンズ対策を意識しています。以前は男子学生も女性の髪をデザインしたくて目指していましたが、最近はメンズです。

(学校側)：就職雑誌を見てもメンズを意識したサロンが増えているのがよくわかります。メンズチームをサロンが作っている。理容科・美容科併設校として美容科の特徴を打ち出す上でヒントになるかもしれませんね。男性も美容室に行く方が増えているということも言えるかもしれません。

○土橋翔太 委員

現在は高校 2 年生の担任をしています。まずは大学希望者が多く、専門学校は通信系・機械系希望者が上位になります。美容系はヘアメイク、メイクの声をよく聞きます。上級学校の特色は聞いてくるように生徒には伝えています。

(学校側)：進路ガイダンスには会場・高校内とも参加はしていますが、以前に比べて来場者数が減っていますし、参加する大学・専門学校側も減っています。高校側からも生徒に積極参加を試みてはいるみたいですが、自主的な参加よりも高校側が授業の一環として全員を連れていく形が多くなっています。自主的ではない分、意欲に差を感じますけど。また高校側は生徒に上級学校の特色、どのような学生に入学してほしいか、高校生として今何をしておくべきか、卒業後の主な就職先の系統について等、確認ポイントを生徒に伝え進路指導の一助にしているようです。

以上
記録：山口